

全ての寺

阿波のふるさとめぐりの歌

（そよ） 甲申

これから阿波のあの町この町を、歌にのつてさあ楽しくまいりましょう。
先ず最初は、巻いて流れて流れて巻いて、四方にとどろく渦潮の上に、夢のか
け橋のかかるこの町は、古くから塩できずきあげた 観光の町 鳴門

①

鳴門 鳴門 阿波の町
うず潮越えりや青い国
ここは四国の東門
八十八ヶ所うちはじめ
ワンワン風が空からまねく
阿波の町

次は四国三郎吉野川の河口に、阿波蜂須賀藩の城下町として栄え、藩主ゆか
りの阿波踊りの渦巻く 情熱の町 徳島

②

徳島 徳島 阿波の町
吉野の流れ尽きる頃
花の眉山にこだまする
はずむリズムと三味の音が
海原こえて異国にひびく
阿波の町

次は四国の名刹薬王寺の前に、ポツカリ浮んだ夢の島、立島をしたって、毎
年海亀のやってくる町 日和佐

③

日和佐 日和兼^佐 阿波の町
まいりに行こう厄除けに
六十一の坂を越え
ゆぎ塔からながむれば
港の松に海亀の宿
阿波の町

④

次は四国の島のまん中に、高校野球の活躍で、一躍その名を天下に覇せた、
県西の兼衛池田町

④-①

池田 池田 阿波の町
四国のおへそ阿波池田
上野が丘白地城と
ダム湖面に映す町
春爛漫をスワンで巡る
阿波の町

④-②

池田 池田 阿波の町
讃岐に伊予に 又土佐に
鉄路は行く四方の地へ
もみじに映ゆ大歩危や
小歩危の眺め山水の美よ
阿波の町

④-③

最後は私の生れたふる里の町へ 県都徳島の都市圏の中にあり、古い歴史の
上に新しい文化の町をめざす 吉野川平野の中核の町 石井町

石井 石井 阿波の町
国分尼寺や藍蔵に
古い文化のおう町
藤のお寺や鳥の森
吉野の広野うるおす町よ
阿波の町

②

阿波のふるさとめぐり

(その二) 田中 豊

6 これから吉野川北岸のあの町この町を、歌にのってさあ楽しくまいりまじょう。
先ず最初は、天然の奇勝土柱をシンボルに、希望と活力のある町づくりをめざす
新興の町 阿波町。

阿波郡 阿波町 阿波の町

三つの阿波の揃う里

続く阿讃の山すそに 見事自然の造形美

天下の土柱 波濤のごとく 阿波の町

7 次は、阿讃山系の山すそに、古くからの城下町として、また藍商人の町として
栄えたうだつの町 脇町。

脇町 脇町 阿波の町

高越の峰に日がさせば

四国三郎きうきうと 町の柳に光る風

うだつの町に城下の誇り 阿波の町

8 次は、四国の島のまん中に、高校球児の活躍で一躍その名を天下に冠せた
県西の要衝 池田町。

池田 池田 阿波の町

四国のおへそ阿波池田

上野が丘 白地城ハクチノシロとダムダムの湖面に映す町

春爛漫をスワンで巡る 阿波の町

9 最後は、四国山脈を横切る天下の峡谷を見下ろすこの町は、伊予土佐との
県境の町 山城町。

山城 山城 阿波の町

大歩危小歩危の醍醐味を

舟と車と汽車の窓 心ゆくまでドライブイン

未来の夢をアンズにかける 阿波の町

ふるさとめぐりの歌 (丹生谷の里)

田中 豊作

これから清流那賀川にそって、丹生谷地方のあの町この町を、歌にのってさあ楽しくまいりましょう

10

まず最初は桑野の町から阿瀬比を越えりゃ、ここ那賀川の中流に丹生谷の玄関町として栄えた 鷺敷町

わじき わじき 阿波の町

カヌーに集う若人や

阿波九城の仁宇の津を

わじきラインに映す町

ここ丹生谷の玄関町よ 阿波の町

11

次是那賀中流の段丘に、自然のめぐみゆたかにうけて
明るくのびる 相生の町

相生 相生 阿波の町

ほのかに香る茶の香り

赤いおもとの実もさえて

ダムにいこいの紅葉川

うすむらさきのおじさいうつす 阿波の町

12

次はこちら那賀郡向いは海部、古い歴史でつづられた
ゆずの香かおるダムの町 上那賀町

上那賀 上那賀 阿波の町

水輪をめぐる新四国

那賀と海部のいにしえを

ダムの湖底に秘める町

交わる国道が未来を開く 阿波の町

13

次は坂州川から沢谷かけて深山と溪谷、
大自然に恵まれた 那賀奥の秘境 木沢の村

木沢 木沢 阿波の村

溪谷登る国道が

濡れる大釜滝しぶき

スノーボードドライブ槍戸まで

しばしのいこい四季美が谷よ 阿波の村

14

最後是那賀川の清流をさかのぼる白い国道が
やがて土佐路にせまる頃、古くからおらが村独自の
文化をはぐくんできた奥山のふるさと 木頭の村

木頭 木頭 阿波の村

見わたすかぎりの木頭杉

木頭踊りのはずむ宵

ゆずにあめごの姿ずし

高の瀬峡の紅葉をそえて 阿波の村